

平成 22 年 5 月 1 日現在

研究種目：基礎研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19530414

研究課題名（和文）コーポレート・レピュテーションによる企業価値の創造

研究課題名（英文）Creation of Corporate Value by Corporate Reputation

研究代表者

櫻井 通晴（SAKURAI MICHIHARU）

専修大学・名誉教授

研究者番号：30083596

研究代表者の専門分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学・会計学

キーワード：①レピュテーション ②マネジメント ③インタンジブルズ ④ブランド ⑤管理会計 ⑥コーポレート・レピュテーション ⑦レピュテーション・マネジメント

1. 研究計画の概要

（1）コーポレート・レピュテーションが企業価値の創造にどのような影響を及ぼすかの研究を行う。あわせて、管理会計がコーポレート・レピュテーションの向上にどんな役割を果たしうるかの研究を行う。

（2）コーポレート・レピュテーションの研究を世界的な水準にまで引き上げるべく努力する。とくに、若い研究者の研究レベルを引き上げる。

（3）可能な限り、レピュテーション管理会計の構築を行う。

2. 研究の進捗状況

研究計画の（1）と（2）の研究計画の目的をほぼ達成できた。あとは最終目的である

（3）のレピュテーション管理会計の構築を残すのみとなった。これが本年度の課題であるが、本年の 10 月までにはその原稿を仕上げ、3 月までにはレピュテーション管理会計の構築を完成できる目処がついている。

年度別にみていこう。平成 19 年度は、図書の購入などで文献の蒐集を行う予定であったが、計画通りであった。医療機関についてのレピュテーションを管理会計という観点から考察した。調査に当たっては、5 つの病院の事態調査を行った。これは平成 22 年度の予定であったが、先取りしたことになる。ただ、海外での世界大会への参加については、授業期間中は大学から許可がでないことを知り、残念ながらレピュテーション・インスティテュートの世界大会へは参加できなかつ

た。その代わりに、アメリカ会計学会（8 月）には参加した。とりわけアメリカ会計学会のレピュテーションの関連報告には出席し、大いに参考になった。アンケート調査を来年度実施するための事前の調査を始めた。

平成 20 年度は、関連文献についても着実に計画を実現させた。企業訪問も計画を達成させた。昨年度は、授業中には海外への出張は認められないということであるので、前年に引き続き、レピュテーション関連学会への参加は見合わせ、前年に引き続き、アメリカ会計学会に参加した。アンケート調査を行い、その成果を発表した。アンケート調査では専修大学の青木章通氏と岩田弘尚氏に参加してもらった。

平成 21 年度は、本年度は、大学の禁止（表面的には海外の渡航は許されているが、現実には許可がでるのが出発の直前であったりして不可能）を犯して、5 月にアムステルダムで行われた第 13 回の世界大会に出席して発表を行った。本年度の企業訪問は、雪印乳業、YKK、トヨタ、テトラパック社などになり、企業は予定とは違っているが、予定した企業訪問も果たすことができた。

3. 現在までの達成度

研究計画の（1）と（2）については、当初の計画を遥かに上回る研究成果を残すことができたと考えている。

（3）については、比率で表現するのは難しいが、現時点で見ると、ほぼ 8 割程度まで達成できているといえる。

4. 今後の研究の推進方策

現在行っている日本会計研究学会のスタンディ・グループの研究を発展的に継続することで、研究の継続を図っていきたいと考えている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

① 櫻井通晴 「管理会計によるインタンジブルズ管理のアプローチ」『城西国際大学紀要』No. 17, 2008, pp. 35-58. 査読あり

② 櫻井通晴 「医療品質の向上はコーポレート・レピュテーションを高める」『医療バランス・スコアカード研究』No. 4-1, 2007, pp. 25-35. 査読なし

③ 櫻井通晴 「コーポレート・レピュテーション研究の学界への貢献可能性」『会計』No. 171, 2007, pp. 30-45. 査読なし

[学会発表] (計 4 件)

① 櫻井通晴 「インタンジブルズと管理会計—レピュテーション・マネジメントを中心に」日本管理会計学会, 2009/8/28, 亜細亜大学。

② Michiharu Sakurai, Management Perception of Reputation Management in Japan, 13th International Conference on Corporate Reputation, Brand, Identity and Competitiveness, Reputation Institute, in Amsterdam, May 30, 2009.

[図書] (計 2 件)

① 櫻井通晴 『レピュテーション・マネジメント—内部統制, 管理会計, 監査による評判の管理』同文館, 2008 年, pp.1-398.